

# Webex通話ライセンスの使用状況の確認

## 内容

---

[はじめに](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[背景説明](#)

[ライセンスタイプの概要](#)

[検証プロセス](#)

[ユーザライセンスの使用状況の確認](#)

[アテンダントコンソールライセンスの使用状況の確認](#)

[Workspaceライセンスの使用状況の確認](#)

[Webex Goライセンスの使用状況を確認する](#)

[Webex Go Mobileライセンスの使用状況を確認する](#)

[シスココールプランライセンスの使用状況の確認](#)

[シスコの通話プランでユーザを確認する](#)

[シスコの通話プランでワークスペースを確認する](#)

[シスコの通話プランを使用した仮想回線の確認](#)

[TACケースのための推奨情報](#)

[関連情報](#)

---

## はじめに

このドキュメントでは、Control Hubのライセンスの概要に、Webex通話サービスのライセンスの使用状況が正確に反映されていることを確認する方法について説明します。

## 前提条件

### 要件

次の項目に関する知識があることが推奨されます。

- Webex Calling
- Webex Control Hub

### 使用するコンポーネント

このドキュメントは、特定のハードウェアやソフトウェアのバージョンに限定されるものではありません。

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されました。このド

キュメントで使用するすべてのデバイスは、クリアな（デフォルト）設定で作業を開始しています。本稼働中のネットワークでは、各コマンドによって起こる可能性がある影響を十分確認してください。

## 背景説明

Webex Control Hubは、Webex製品ポートフォリオ用のWebベースの管理ポータルです。ユーザー、ライセンス、およびデバイスを管理するための集中型プラットフォームを提供します。

Control Hub内では、ライセンス・サマリーは、組織内のライセンス・ステータスの包括的なビューを提供するダッシュボードとして機能します。購入済みのライセンスのタイプと数量、現在使用中のライセンス数、および使用可能なライセンス数に関する詳細情報が表示されます。

Control Hubのライセンス概要を使用することで、管理者はWebex Callingの導入が組織のニーズやコンプライアンス要件に適合していることを確認できます。

## ライセンスタイプの概要

組織のライセンスの概要を確認するには、「ライセンスの概要」セクションに移動します。

ステップ 1：MANAGEMENT > Accountの下で、Subscriptions > License Summaryの順にクリックします。

ステップ 2：「通話」セクションには、Webex通話サービス用の次のライセンスがあります。

- Professionalライセンス（ユーザー）
- Professionalライセンス(workspace)
- 標準ライセンス（ユーザーのみ）
- Workspaceライセンス（Workspaceのみ）
- シスココールプランライセンス（発信コール）
- Webex Go（個人所有デバイスの持ち込み）
- Webex Go Mobile（モバイル事業者）
- Attendant Console（Webex Calling Professional用アドオン）

## 検証プロセス

### ユーザーライセンスの使用状況の確認

組織内で割り当てられているStandardライセンスとProfessionalライセンスの数をカウントするには、この情報を含むカンマ区切り値(CSV)ファイルをダウンロードします。

ステップ 1：MANAGEMENT > Usersの下で、Manage Users > CSV add or editの順にクリックします。

ステップ 2：Download CSVをクリックし、ファイルがダウンロードされるまで待ちます。

## CSV bulk add or edit users

### Download CSV data

[Download CSV](#) or [Download CSV template](#)

[How to edit the CSV file?](#)

### Upload CSV data

If your CSV file contains Unicode characters (e.g. あ, φ, ï, ù, ß), upload your file in the UTF-8 format.



Drag and drop a file to upload or

[Choose a file](#)

[View import history/tasks](#)

## ユーザのCSVファイル

ダウンロードしたCSVファイルは、任意のビジュアライザーで開くことができます。ビジュアライザーによって、次のような情報を表示できます。

1	First Name	Last Name	Display / User ID / User Status	Last Service / Days since Li	Preferre	Locale	Timezon	Extensi	Phone Nur	Mobile N	Alternat	Alterna	Caller ID Nur	Caller II	Caller ID	Location	City	Address	Zip/post	State/p	Country	Hybrid (	Hybrid	Hybrid	Jabber wit
2	User 1	HGTTest	VM HGT; aluma15; Not Verified					3906					1.8302E+10	VM	HGTTest	Site									FALSE
3	User 2	Testing	Another; aluma15; Active	2024-05-28T	41			0125	1.39E+10				1.3856E+10	Another For Testin	Site										FALSE
4	User 3	Forward	Proof For; aluma15; Verified					2344	1.39E+10				1.3855E+10	Proof	Forward	Site									FALSE
5	User 4	Test	User For; aluma15; Active	2024-05-28T	41			2740	1.83E+10				1.6062E+10	User	For Testin	test123									FALSE
6	User 5	Tests	aluma15; aluma15; Active	2024-07-08T	0			1001	1.83E+10				1.8302E+10	Ale	XS	Site									FALSE
7	User 6	Name	Licencia; aluma15; Not Verified					4321	1.39E+10				1.3854E+10	Licenci	Prueba	Site									FALSE
8	User 7	Example	co.tania; co.tania; Active	2024-06-27T	12			1234	1.43E+10				1.4302E+10	Cle	YS	Site									FALSE

## ユーザCSVコンテンツサンプル

この例では、最初の行には異なる列の名前が含まれ、他の行はそれぞれ組織内のユーザを表します。

最初の行で、StandardライセンスとProfessionalライセンスを表す列を検索します。このWebex Calling VAR Basic [sub-site name] 列はStandardライセンスを示し、Webex Calling VAR Professional [sub-site name] 列はProfessionalライセンスを示します。

これらのカラムの値は、TRUEまたはFALSEのいずれかです。TRUEの値は、その行のユーザにそのライセンスが割り当てられていることを意味します。

最後に、これらの各列をフィルタして、TRUE値を含む行のみを表示します。このWebex Calling VAR Basic [sub-site name] 列には、Standardライセンスの総使用量が割り当てられ、Webex Calling VAR Professional [sub-site name] 列には、Professionalライセンスの総使用量が割り当てられます。

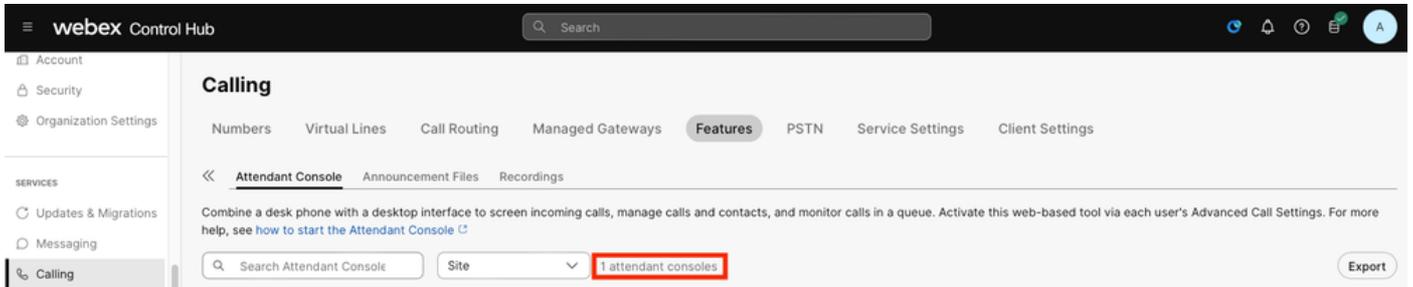
## アテンダントコンソールライセンスの使用状況の確認

組織内で割り当てられているアテンダントコンソールライセンスの数をカウントするには、「Attendant Console」セクションにアクセスし、アテンダントコンソールライセンスを持つユーザが割り当てられている各ロケーションでこのプロセスを繰り返します

ステップ 1 : SERVICES > Calling > Featuresの下で、Attendant Consoleタブをクリックします。

ステップ 2 : 組織内の場所を選択します。

ステップ 3 : このロケーションで使用するアテンダントコンソールライセンスの数を確認します。



### アテンダントコンソールの使用

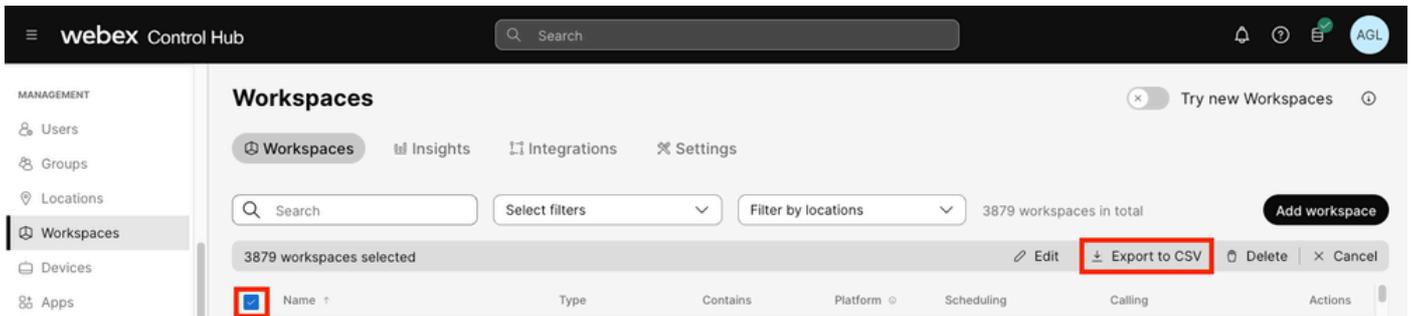
最後に、各ロケーションに割り当てられたライセンスを合計し、Attendant Consoleライセンスの合計使用量を取得します。

### Workspaceライセンスの使用状況の確認

組織内で割り当てられているProfessional WorkspaceライセンスおよびWorkspaceライセンスの数をカウントするには、この情報を含むCSVファイルをダウンロードします。

ステップ 1 : MANAGEMENT > Workspacesの下で、最初の行のチェックボックスをクリックします。

ステップ 2 : Export to CSVをクリックします。



### ワークスペースCSVファイル

ダウンロードしたCSVファイルは、任意のビジュアライザーで開くことができます。ビジュアライザーによっては、次のような情報を表示できます。

1	ID	Name	Type	Contains	Scheduling	Email Address	Calling	Capacity	Device hoste	Location
2	768573d5	BE001 - A	Not set	Cisco 7832	None		Cisco Webex CallingWorkspace	Not set	Disabled	BE001
3	c86034fa	BE001 - E	Not set	Cisco 7841	None		Cisco Webex CallingWorkspace	Not set	Disabled	BE001
4	7772163t	BE001 - C	Not set	Cisco 7841	None		Cisco Webex CallingWorkspace	Not set	Disabled	BE001
5	4a592fa3	BE001 - E	Not set	Cisco 7841	None		Cisco Webex CallingWorkspace	Not set	Disabled	BE001
6	f799a204	BE001 - S	Other	Cisco 7841	None		Cisco Webex CallingWorkspace	Not set	Disabled	BE001
7	dcecd06E	BE004 - A	Not set	Cisco 7841	None		Cisco Webex CallingWorkspace	Not set	Disabled	BE004
8	e98e3434	BE004 - E	Not set	Cisco 7841	None		Cisco Webex CallingWorkspace	Not set	Disabled	BE004
9	dde85c4C	BE004 - E	Not set	Cisco 7841	None		Cisco Webex CallingWorkspace	Not set	Disabled	BE004
10	f4edf3eb-	BE004 - C	Not set	Cisco 7841	None		Cisco Webex CallingWorkspace	Not set	Disabled	BE004
11	23e3cc5f	BE004 - 1	Not set	Cisco 7841	None		Cisco Webex CallingWorkspace	Not set	Disabled	BE004

## ワークスペースCSVコンテンツサンプル

CSVファイルでは、最初の行に異なる列の名前が含まれ、他の各行はそれぞれ組織内のワークスペースを表します。

最初の行で、Calling列を検索します。Webex通話サービスのこの列の値は、Cisco Webex Calling Professional WorkspaceまたはCisco Webex Calling Workspaceのいずれかです。どちらの列にも、その行のワークスペースに割り当てられたライセンスのタイプが示されます。

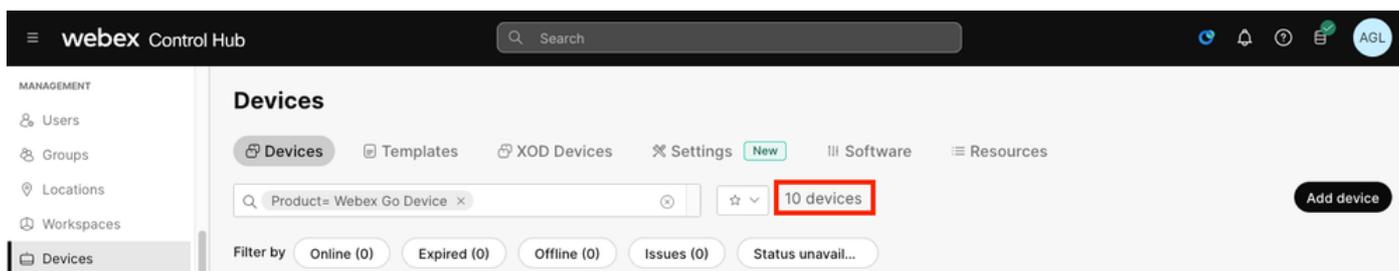
最後に、この列をフィルタしてCisco Webex Calling Professional Workspace値またはCisco Webex Calling Workspace値を含む行のみを表示し、Professional WorkspaceライセンスおよびWorkspaceライセンスの使用量の合計をそれぞれ取得します。

### Webex Goライセンスの使用状況を確認する

組織内で割り当てられているWebex Goライセンスの数をカウントするには、デバイスページにアクセスします。

ステップ 1：MANAGEMENT > Devicesの下にある検索バー > Product > Webex Go Deviceの順にクリックします。

ステップ 2：各Webex Goデバイスは1つのWebex Goライセンスを使用するため、Webex Goデバイスの合計容量を確認して、Webex Goライセンスの合計容量を取得します。



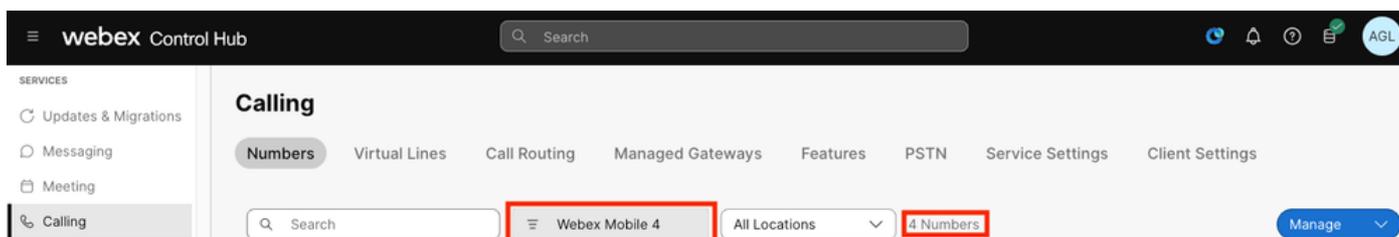
### Webex Goの使用

### Webex Go Mobileライセンスの使用状況を確認する

組織内で割り当てられているWebex Go Mobileライセンスの数を数えるには、「数」セクションにアクセスします。

ステップ 1：SERVICES > Calling > Numbersの下で、検索バー > Webex Mobileの横にあるfilterメニューをクリックします。

ステップ 2：各Webex Go Mobile番号は1つのWebex Go Mobileライセンスを使用するため、Webex Go Mobile番号の合計数を確認してWebex Go Mobileライセンスの使用総数を取得します。



### Webex Goモバイルの使用

### シスココールプランライセンスの使用状況の確認

組織内で割り当てられているシスコのコールプランライセンスの数をカウントするには、シスコのコールプランライセンスを使用

して、ユーザ、ワークスペース、および仮想回線を確認します。次に、すべての小計を合計して、シスココールプランライセンスの使用状況合計を取得します。

### シスコの通話プランでユーザを確認する

組織内でシスココールプランライセンスが割り当てられているユーザの数をカウントするには、この記事で前述した「ユーザライセンスの使用状況のチェック」セクションの説明に従ってCSVファイルを生成します。

CSVファイルで、Calling Plan列を見つけます。この列の値はTRUEまたはFALSEのいずれかになります。TRUEは、その行のユーザにシスコのコールプランライセンスが割り当てられていることを意味します。

1	Hybrid Mess	Jabber with V	Jabber Callin	Contact Mig	Upgrade Prof	Preferred We	External Call	Custom Ext	Manager Em	Department	Title	Basic Me	Basic Space	Call on Web	Calling Plan	Hybrid Calen	Hybrid Calen	Hybrid Messi	On-Prem UCI	Advanced Me	Advanced Sp	Customer Ex	Webex Calling
2	FALSE	FALSE	FALSE			DIRECT_LINE						TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	FALSE	FALSE	FALSE	FALSE	FALSE	FALSE	FALSE	TRUE
3	FALSE	FALSE	FALSE			DIRECT_LINE						TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	FALSE	FALSE	FALSE	FALSE	FALSE	FALSE	FALSE	TRUE
4	FALSE	FALSE	FALSE			DIRECT_LINE						TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	FALSE	FALSE	FALSE	FALSE	FALSE	FALSE	FALSE	TRUE
5	FALSE	FALSE	FALSE			DIRECT_LINE						TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	FALSE	FALSE	FALSE	FALSE	FALSE	FALSE	FALSE	TRUE
6	FALSE	FALSE	FALSE			OTHER	Cisco Test					TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	FALSE	FALSE	FALSE	FALSE	FALSE	FALSE	FALSE	TRUE
7	FALSE	FALSE	FALSE			DIRECT_LINE						TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	FALSE	FALSE	FALSE	FALSE	FALSE	FALSE	FALSE	TRUE
8	FALSE	FALSE	FALSE			DIRECT_LINE						FALSE	FALSE	TRUE	TRUE	FALSE	FALSE	FALSE	FALSE	FALSE	FALSE	FALSE	TRUE

### ユーザのCSVシスココールプランの内容のサンプル

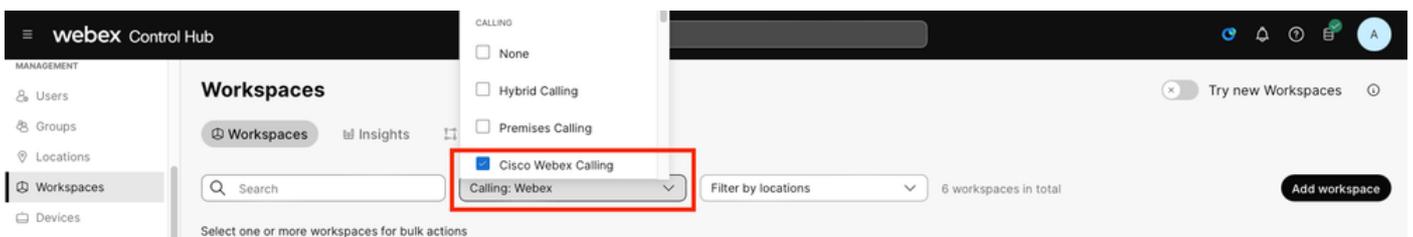
最後に、この列をフィルタしてTRUE値を含む行のみを表示し、ユーザが使用するシスココールプランライセンスの小計を取得します。

### シスコの通話プランでワークスペースを確認する

組織内でシスコのコールプランライセンスが割り当てられているワークスペースの数をカウントするには、各ワークスペースの発信権限ページにアクセスします。

ステップ 1 : MANAGEMENT > Workspaces の下で、search bar の横にある filter メニューをクリックします。

ステップ 2 : CALLING の下で、Cisco Webex Calling を選択します。

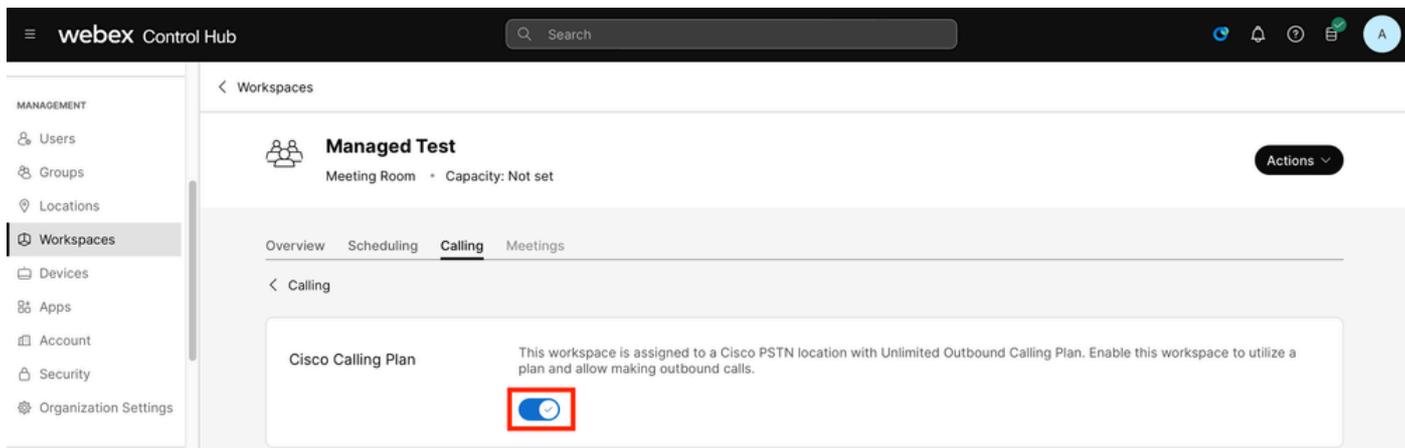


### Cisco Webex 通話フィルタ

ステップ 3 : Workspace > Calling の順にクリックします。

ステップ 4 : Call handling > Outgoing Call Permissions までスクロールします。

ステップ 5 : Cisco Calling Plan トグルが有効になっているかどうかを確認します。その場合、ワークスペースは1つのシスコ通話プランのライセンスを使用しています。



### Cisco Calling Planワークスペース

手順 6 : ワークスペースごとに手順4 ~ 6を繰り返し、ワークスペースで使用するシスココールプランのライセンスの最小使用量を確認します。

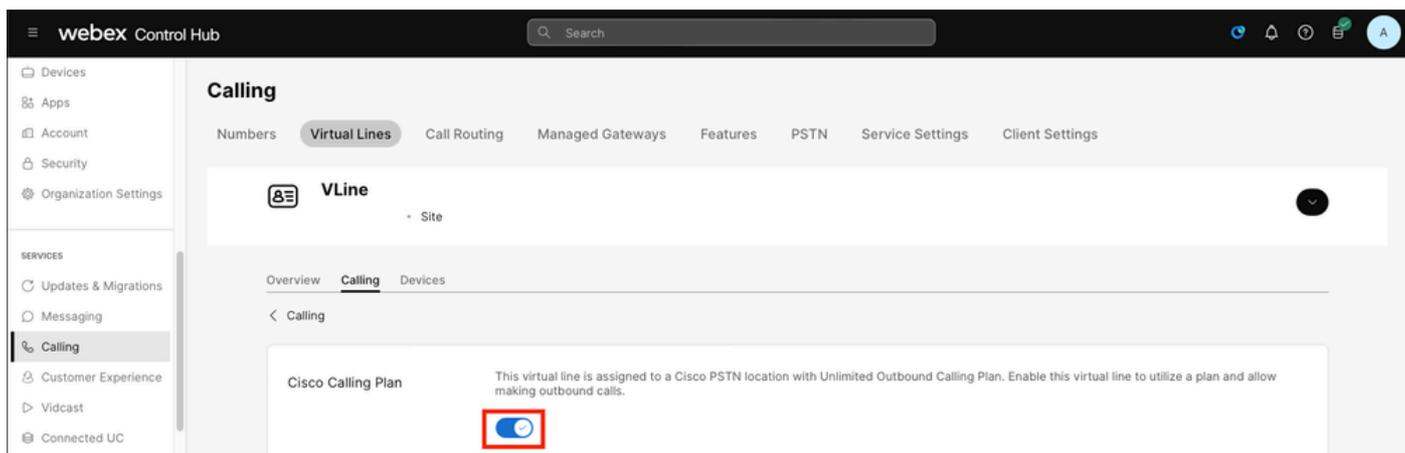
### シスコの通話プランを使用した仮想回線の確認

組織内でシスココールプランライセンスが割り当てられている仮想回線の数をカウントするには、仮想回線ごとに発信コール権限ページにアクセスします。

ステップ 1 : SERVICES > Callingの下で、Virtual Line > Callingの順にクリックします。

ステップ 2 : Call handling > Outgoing Call Permissionsまでスクロールします。

ステップ 3 : Cisco Calling Planトグルが有効になっているかどうかを確認します。その場合、仮想回線は1つのシスココールプランライセンスを使用しています。



### シスコの通話プランの仮想回線

ステップ 4 : 仮想回線で使用するシスココールプランライセンスの小計が得られるまで、仮想回線ごとにステップ2 ~ 4を繰り返します。

### TACケースのための推奨情報

Control Hubのライセンスの概要とこの記事で説明されているライセンス数プロセスに不一致がある場合は、TACでケースをオーブ

ンします。

次の情報を含めることを推奨します。

- 組織ID
- 不一致が存在する場所の説明
- CSVファイルまたは不一致の証拠のスクリーンショットを添付します。

#### 関連情報

- [Control Hubで割り当てられたライセンスを表示](#)
- [CSVテンプレートを使用したコントロールハブでの複数ユーザの追加](#)
- [Attendant Consoleの概要](#)
- [Webex Goとは](#)
- [コントロール・ハブのワークスペース](#)
- [シスコの通話プランを使用する](#)
- [仮想回線を使用したWebex通話での複数回線サポート](#)

## 翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。